

## 知床五湖登録引率者審査部会の議論結果について

### 1. 第 33 回審査部会の議論結果

#### <決議事項>

#### 1) 登録試験結果の結果について

(北海道より説明)

- ・登録試験を受験した既存登録引率者 30 名、未更新者 1 名、養成研修修了者 1 名、新規養成者 2 名の計 34 名が合格。(新型コロナウイルスの影響により、2 次試験免除規定の特例措置を実施)
- ・試験結果について承認され、来年度ヒグマ活動期の引率登録は 34 名を予定。

#### <協議事項>

#### 2) 2021 年度以降の知床五湖運用について

(環境省より説明)

- ・新型コロナウイルスが見通せない状況において来年度の「新規登録引率者の要請募集の取扱や今後の方向性」について協議が行われ、新規養成研修のあり方や 2021 年度の募集の方向性について、次回審査部会にて取扱を決定することとした。
- ・新型コロナウイルスの影響もあり、研修カリキュラムの内容や運営体制など、計画通りの研修が難しい状況もあることや、ヒグマ生息地を引率する養成者の要件や研修カリキュラムのハードルを下げるべきではないとの共通認識を踏まえ、引き続き検討を進める。
- ・モニタリング計画（利用適正化計画）について、次回審査部会で素案を示し意見を頂くこととした。
- ・ヒグマ活動期運用ハンドブックを 2021 年度に改定する。

## 2. 第 34 回審査部会の議論結果

### <決議事項>

#### 1) 2021 年度登録引率者の研修及び新規養成について

(環境省より提案)

- ・新型コロナウイルスの影響により新規養成の必須項目である既存ツアーへの同行と自主研修の機会が十分に担保されない可能性があることに加え、研修を簡易にすることは登録引率者の質を下げることに繋がり、五湖利用の安全面が懸念されるため「2021 年度新規登録引率者の募集は休止する」ことで提案され、承認された。
- ・2021 年度は今後の研修カリキュラム等、新規養成のあり方について検討をすることとした。

#### 2) 2021 年度 登録引率者の研修等スケジュールについて

(知床財団より提案)

- ・2021 年度の登録引率者研修と試験のスケジュールを確定した。
- ・シーズン前研修は屋外での実習を中心に実施予定とする。シーズン中・後研修は従来通りの実施としつつ、状況に応じてリモート実施、レポート等による代替研修とする。
- ・新型コロナウイルスによる社会情勢が流動的なため、状況に応じて事務局と登録引率者等の関係者間で都度協議を行い、実施内容は適宜見直すこととした。

#### 3) 2021 年度 ヒグマ活動期の運用計画について

(環境省より提案)

- ・2021 年度のヒグマ活動期の運用について、ツアーコースの変更(新規ルート、二湖展望地)や新型コロナウイルス感染症対策(ツアー定員任意での上限設定)を含む運用計画について提案され、承認された。
- ・2021 年度の運用体制が確定していない植生保護期の事前予約については、次回知床五湖の利用のあり方協議会での協議を踏まえ、今後の取り扱いを決定することとした。
- ・ヒグマ活動期のツアー予約は例年通り 2 月 14 日受付開始とした。

#### 4) 2021 年度小ループ・当日受付事業計画について

(知床ガイド協議会より提案)

- ・知床ガイド協議会実施の小ループ当日受付事業はガイド協議会が自主事業として実施するが、新型コロナウイルスの状況を考慮し、事業期間の短縮など変更する可能性があることも踏まえて事業要領が示され、承認された。

### <協議事項>

#### 5) 利用適正化におけるモニタリング実施計画について

(知床財団より説明)

- ・利用適正化計画に基づいたモニタリング実施計画案について、モニタリングの基本方針や調査項目に関して協議を行った。実施計画案に協議結果を反映し、次回知床五湖の利用のあり方協議会で再度検討することとした。